

## 令和4年度事業報告

### 1. 大学地域連携課題解決支援事業

- (1) 令和4年度実施事業として、継続10件、新規9件に助成を行った。
- (2) 環びわ湖 大学地域交流フェスタ 2022

12月4日（日）午前10時から午後12時40分まで オンライン（ZOOM）で実施。

令和4年度は、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、感染のリスクを避けるため、前年度同様、ディスカッション等による地域との交流は中止とし、学生の間接報告会（活動報告）のみオンラインにより実施した。90名参加。

- (3) 令和5年度実施事業を募集し、大学地域連携課題解決支援事業選考委員会（立命館大学、びわこ学院大学、びわこ成蹊スポーツ大学、滋賀文教短期大学 部会主担当）において選考を行い、継続6件、新規7件の助成を決定した。

### 2. 学生支援事業

- (1) 事業の実施

「学生による滋賀のSDGsや地域の魅力の発信」を方針とし、県内大学の学生により組織される学生委員会と連携し、「びわ湖から考える、滋賀の食と地産地消」を年度テーマに、参加学生が、レクチャーやフィールドワークを経て、テーマに沿った特色あるSDGsに関する取り組みを行う企業や団体、個人を選定したうえで、現場を訪問して取材を行い記事に纏め、ブックレットを制作した。

- (2) 実施内容

- 『SHIGA SDGs Studios+ Booklet 2022』の制作・配布
- SDGsマップの作成・公開
- SDGs全国フォーラムでのポスターセッションの参加

### 3. 留学生事業

- (1) 留学生就職活動ガイダンス

7月16日（土）、12月17日（土）に対面およびオンラインによるハイブリッド形式で開催した。各々11名参加。

- (2) 滋賀県留学生のつどい

11月20日（日）三井寺、石山寺、瀬田川クルーズを巡った。36名参加。

### 4. 就職支援事業

- (1) 合同企業説明会

5件の合同企業説明会に協力した。

- (2) 情報交換会、研修会

- 滋賀県企業人事担当者と大学就職担当者との情報交換会：12月14日（水）
- 就職支援に関する意見交換会：9月8日（木）
- 大学就職担当者間の情報交換会・研修会：1月20日（金）

- (3) 学生対象就職イベント「しが就活塾」

9月24日（土）にWeb（Zoom）で開催した。

（4）企業採用経験者による模擬面接会

6月28日（火）にしがジョブフェア内で実施した。

## 5. 単位互換事業

（1）提供科目：64科目

（2）受講科目及び受講者数：14科目 35名

## 6. 広報事業

（1）ホームページの管理・運営

○各事業の展開をお知らせとして掲載

○留学生事業のページの新設

○学生支援事業等のSDGsへの取組の掲載

（2）広報資料の作成・配付

リーフレットを改訂し、会員や関連機関へ配付した。

（3）アクセス統計

○ユーザー数 11,379件

○セッション数 14,902件

○ページビュー数 34,543件

## 7. 県内大学等と地域のパートナーシップ推進に関する政策研究事業

（1）大学連携政策研究事業推進委員会の開催（6月21日、9月22日、11月25日）

（2）課題別関係者ヒアリング調査

○A：産学官による滋賀人材育成ビジョン共有の場づくり

市民セクター：しがNPOセンター，東近江三方よし基金

企業：㈱日吉，㈱滋賀銀行

行政：甲賀市，大津市

○B：高大の地域人材育成ビジョンの共有と高大連携による人材育成

彦根東高校，大津商業高校

○C：産学官 パートナーシップを推進するコーディネート機能

滋賀県立大学地域共生センター，長浜市政策デザイン課，㈱たねや経営本部

（3）報告書の作成

3月末に報告書を作成し、滋賀県に提出。環びわコンソーシアムのホームページに掲載。

以上

## 2022（令和4）年度 大学地域連携課題解決支援事業 報告

### 1. 担当

主担当 滋賀医科大学

副担当 びわこ学院大学、彦根市、長浜市

### 2. 2022（令和4）年度事業報告

第1回事業部会 6月21日(火)

1. 大学地域連携課題解決支援事業計画について
2. 環びわ湖大学地域交流フェスタについて

第2回事業部会 8月31日(水)

1. 環びわ湖大学地域交流フェスタについて
2. 地域課題の捉え方について

第3回事業部会 10月21日(金)

1. 環びわ湖大学地域交流フェスタ 2022 について

第4回事業部会 12月20日(火)

1. 2023年度支援事業募集案内について
2. 2023年度部会予算について

第5回事業部会 3月28日(火)

1. 2023年度支援事業の採択について
2. 2022年度支援事業の報告について

#### ・環びわ湖大学地域交流フェスタ 2022 について

日程：12月4日(日) 10時から

場所：オンライン（ZOOM）で実施

内容：中間報告会

地域課題解決支援事業 19 件の活動報告

・2022（令和4）年度大学地域連携課題解決支援事業 実施事業一覧

| 事業 | 番号 | 大学                | 自治体  | テーマ   | 支援額<br>(円) | 決算額<br>(円) |
|----|----|-------------------|------|---|------------|------------|
| 継続 | 1  | 滋賀大学              | 長浜市  | 「サステナビリティ・マップの創造」<br>移住と関係人口を増やす景観・空き家・地域コミュニティの魅力発信    | 121,000    | 89,109     |
| 継続 | 2  | 聖泉大学              | 彦根市  | 十人十色プロジェクト（性の多様性を知ってもらおう！）                              | 130,000    | 53,270     |
| 継続 | 3  | 滋賀県立大学            | 彦根市  | Explore Hikone!!～地域マップの多言語化を通して多文化共生をすすめよう～             | 150,000    | 149,930    |
| 継続 | 4  | 龍谷大学              | 滋賀県  | 地域の笑顔を SNS で届ける—シニアボランティアの ICT ツール習得支援—                 | 95,000     | 71,008     |
| 継続 | 5  | びわこ学院大学           | 東近江市 | 東近江市中心市街地活性化に関する実証的研究                                   | 130,000    | 129,430    |
| 継続 | 6  | びわこ学院大学           | 東近江市 | ポストコロナにおける、水泳を苦手とする児童を対象とした大学生による水泳教室 ～運動介入による小大連携への模索～ | 108,000    | 107,971    |
| 継続 | 7  | びわこリハビリテーション専門職大学 | 東近江市 | いきいき生活プロジェクト<br>—頭と体のリフレッシュ—                            | 130,000    | 130,000    |
| 継続 | 8  | 長浜バイオ大学           | 長浜市  | びわ湖の森の生き物「トチノキ」の電顕画像を発信する                               | 140,000    | 139,624    |
| 継続 | 9  | 長浜バイオ大学           | 長浜市  | 河川再生プロジェクトと科学に対する学びの場の提供                                | 145,000    | 126,104    |
| 継続 | 10 | 龍谷大学              | 草津市  | AR コンテンツを用いた草津の魅力発信                                     | 113,000    | 110,601    |
| 新規 | 1  | 立命館大学             | 草津市  | キャンパス周辺の地域資源を活かしたウォーカブルなまちづくり                           | 130,000    | 130,000    |
| 新規 | 2  | 立命館大学             | 草津市  | サルベージレシピの活用による食品ロス削減と循環型社会形成                            | 130,000    | 33,851     |
| 新規 | 3  | 成安造形大学            | 彦根市  | 彦根マラリアートプロジェクト  | 130,000    | 130,000    |
| 新規 | 4  | 成安造形大学            | 大津市  | 店舗から排出されるゴミ問題に着目したアップサイクルデザイン                           | 150,000    | 150,000    |
| 新規 | 5  | 龍谷大学              | 草津市  | ウィズコロナにおけるフードドライブ事業支援                                   | 97,000     | 25,509     |
| 新規 | 6  | びわこ学院大学           | 東近江市 | 「手をあげて わたろう」運動啓発<br>動画 DVD の制作                          | 144,000    | 143,405    |

|    |   |         |     |  |         |         |
|----|---|---------|-----|--|---------|---------|
| 新規 | 7 | 長浜バイオ大学 | 長浜市 | 滋賀県の稲作を害虫被害から守り<br>地域の方へ稲作の魅力を発信                                 | 127,000 | 127,000 |
| 新規 | 8 | びわこ学院大学 | 滋賀県 | 「親子で考えよう！今どきのコミュニケーション」<br>安全なペアレンタルコントロールの<br>啓発活動              | 100,000 | 67,453  |
| 新規 | 9 | びわこ学院大学 | 大津市 | 科学館事業に参加をする子どもたち<br>と大学生の関わりの在り方を求めて<br>—大津市科学館とびわこ学院大学と<br>の連携— | 130,000 | 129,180 |

・2023（令和5）年度大学地域連携課題解決支援事業 採択事業一覧

□活動提案の募集対象自治体

滋賀県、大津市、彦根市、長浜市、草津市、甲賀市、東近江市

□募集期間

2023（令和5）年1月6日（金）～2月17日（金）16時必着

□支援（助成）期間

2023（令和5）年4月～2024（令和6）年3月

| 事業 | 番号 | 大学                | 自治体  | テーマ  | 支援額<br>(円) |
|----|----|-------------------|------|--|------------|
| 継続 | 1  | 立命館大学             | 草津市  | キャンパス周辺の地域資源を活かしたウォークアブルなまちづくり                           | 142,000    |
| 継続 | 2  | 成安造形大学            | 彦根市  | 彦根マラリアートプロジェクト   | 142,000    |
| 継続 | 3  | 成安造形大学            | 大津市  | ムダモルフォーゼプロジェクト(店舗から排出されるゴミ問題に着目したアップサイクルデザイン)            | 142,000    |
| 継続 | 4  | びわこ学院大学           | 東近江市 | 「手をあげて わたろう」運動啓発のダンスや歌の練習を通して、交通ルールを身につけ日常生活に実践できるようにする。 | 140,000    |
| 継続 | 5  | びわこ学院大学           | 滋賀県  | 「親子で考えよう！今どきのコミュニケーション」安全なペアレンタルコントロールの啓発活動              | 90,000     |
| 継続 | 6  | びわこ学院大学           | 大津市  | 科学館事業に参加をする子どもたちと大学生の関わりの在り方を求めて一大津市科学館とびわこ学院大学との連携      | 150,000    |
| 新規 | 1  | 長浜バイオ大学           | 長浜市  | 余呉の自然をもっと発信して、もっと繋がる～地域振興へ電子顕微鏡の挑戦                       | 150,000    |
| 新規 | 2  | びわこ学院大学           | 東近江市 | 地域イベント「コロナリエサマーフェスタ」における、親子イルミネーションづくりワークショップ。           | 100,000    |
| 新規 | 3  | びわこ学院大学           | 東近江市 | 博物館の収蔵資料・展示事業を子どもたちに役立てるための、学生参画と道徳科・社会科の地域教材作成          | 150,000    |
| 新規 | 4  | びわこ学院大学           | 東近江市 | 誰もが使いやすい交通環境実現に向けたリ・デザイン                                 | 135,000    |
| 新規 | 5  | 滋賀短期大学            | 大津市  | 大津市無形民俗文化財「大津絵踊り」の3Dデジタル化プロジェクト                          | 150,000    |
| 新規 | 6  | びわこリハビリテーション専門職大学 | 東近江市 | 山間部に暮らす高齢者と共に考えるLIFE～健康いきいき作業療法プロジェクト～                   | 135,000    |
| 新規 | 7  | びわこリハビリテーション専門職大学 | 東近江市 | いきいき生活プロジェクト 2023-24～体力チェックで健康寿命を延ばしましょう～                | 135,000    |

・環びわ湖大学地域交流フェスタ2023

→オンラインで開催予定

以上

## 2022（令和4）年度 学生支援事業 報告

### 1. 担当

主担当 龍谷大学  
副担当 滋賀大学、聖泉大学  
参画 各大学

### 2. 2022（令和4）年度学生支援事業について

2020（令和2）年度からの事業のコンセプト「学生による滋賀のSDGsや地域の魅力の発信」を継承し、地域の魅力発信に貢献する事業を展開した。

さらに、上述のコンセプトに基づき、学生の興味や暮らしへの密接性に高い内容として、「びわ湖」「食」「地産地消」の視点を盛り込み、「びわ湖から考える、滋賀の食と地産地消」を年度テーマに募集を行った。

プログラム参加学生は、レクチャーやフィールドワークを経て、テーマに沿った特色あるSDGsに関する取り組みを行う企業や団体、個人を選定したうえで、現場を訪問して取材を行い記事に纏めた。それらの記事をブックレットとしてとり纏めるとともに、対面による取材の成果発表会を実施した。

#### （1）コンセプト・テーマ

コンセプト 「学生による滋賀のSDGsや地域の魅力の発信」  
年度テーマ 「びわ湖から考える、滋賀の食と地産地消」

#### （2）目的

- ① 地域の人々との交流を通して地域の特性を理解する。
- ② 国連の「持続可能な開発目標」（SDGs）について学ぶ。
- ③ 学生が大学の垣根を越えて交流・学習する。
- ④ 琵琶湖だけではない滋賀の奥深い魅力や特長を認知し、発信する。
- ⑤ 事業の取り組み、成果を幅広い層に発信する。
- ⑥ プロジェクトでの取り組みを通じて、学生の学びと成長に寄与する。

#### （3）体制

2022（令和4）年6月6日～6月20日の期間に募集をした結果、4大学15名から応募があった。例年より少数であったが、前年度の参加学生過多を考慮し、追加は行わずに15名をプログラム参加学生として採用した。

| 滋賀大学 | 聖泉大学 | 立命館大学 | 龍谷大学 | 合計  |
|------|------|-------|------|-----|
| 3名   | 3名   | 6名    | 3名   | 15名 |

※うち1名は  
全プログラム欠席

#### （4）SHIGA SDGs Studios+2022（ブックレットの制作）

##### 1）活動概要

「びわ湖から考える、滋賀の食と地産地消」のテーマに沿った、滋賀県内のSDGsに関連する事業や取組を行う企業や団体、個人を学生がチームに分かれて取材し、紹介するブックレットを制作した。なお、SDGsに関する知識や取材・記事執筆については、委託業者によりレクチャーを行った。

また、レクチャーでの学びを深めるため、フィールドワークを実施し、フィールドワークのミニ発表会を行った。

##### 2）活動内容

## ①ブックレット作成に係る講座

### ●第1回レクチャー

日時：7月10日（日）13：00～15：00

参加者：学生14名（欠席1名）、職員4名

内容：アイスブレイク、

レクチャー：SDGsについて（講師：インパクトラボ 上田氏）

ワークショップ、交流会

### ●第2回レクチャー

日時：8月8日（月）13：00～16：00

参加者：学生12名（欠席3名）、職員4名

内容：レクチャー：取材・記事作成講座（講師：インパクトラボ 吉武氏）

チーム分け、事前学習

### ●フィールドワーク

日時：8月9日（火）10：00～16：00

場所：沖島（近江八幡市）

参加者：学生12名（欠席3名）、職員5名

内容：インタビューや記事作成までの流れを実際に体験した。

プログラム参加学生が沖島に行き、島内を散策するフィールドワークや、島内で特色ある活動を行うゲストスピーカーからの講演やインタビューを通して、感想や気になったポイントをミニ原稿として発表した。

|  |   |
|--|---|
| <p>第1回レクチャーの様子</p>  | <p>第2回レクチャーの様子</p>  |
| <p>フィールドワークの様子</p>  |                     |



## ②取材について

ブックレット制作にあたり、滋賀県内の SDGs に関連する事業や取組を行う企業や団体、個人を調査し、取材先を選定した。取材先は下表のとおり。委託業者のフォローを受けながら、取材アポをチームで行い、実際に取材先に赴いた。なお、1 団体は取材先の意向でオンラインでの取材となった。

|   |  |
|---|--|
| 1 | 【取材先】 ハッピー太郎醸造所 (長浜市)<br>【タイトル】 発酵で広がる、人の輪と食の可能性     |
| 2 | 【取材先】 COCCALA BAKE&CAFÉ (甲賀市)<br>【タイトル】 多様性が認められた社会へ |
| 3 | 【取材先】 NPO 法人愛のまちエコ倶楽部 (東近江市)<br>【タイトル】 菜の花と地域の輪      |
| 4 | 【取材先】 株式会社彦根麦酒 (彦根市)<br>【タイトル】 人と土地が織りなす物語を次の世代へ     |
| 5 | 【取材先】 株式会社バイオセラー<br>【タイトル】 バイオパワーで地域内資源循環            |

## ③成果報告会の実施

日 時：9月16日（金）14:00～16:00

参加者：学生委員14名（欠席1名）、オーディエンス9名

内 容：「びわ湖から考える、滋賀の食と地産地消」をテーマにした取材内容の発表を行った。  
発表後は、SDGs に関する理解や課題の共有に関するディスカッションを行った。



## ④ブックレットの配付

12月に環びわ湖大学・地域コンソーシアム事務局に4700部、滋賀県庁に300部のブックレットが納品された。その後、事務局より取材先や環びわ湖大学・地域コンソーシアム加盟団体等へ送付した。

## (5) 滋賀県企画調整課との連携企画について

### 1) 活動概要

各大学における SDGs 関連事業の取組を記載したマップを作成しブックレットに掲載した。

また、例年は、県内の高校に出向き活動報告を行う「SDGs キャラバン」の実施や加盟大学の SDGs イベントへの参加を行っていたが、本年度は SDGs 全国フォーラムが滋賀県にて開催されたため、ポスターセッションにより成果発表を行った。

### 2) 活動内容

#### ①SDGs マップの作成

昨年に続き、環びわ湖大学・地域コンソーシアムの加盟大学で実施している SDGs に関連するイベントや学生の自主的な活動等の情報を集約し、一体的に可視化できるようにマップを作成した。今年度は両面での構成とし、学外に向けて広く公開し学外の方も参加できる取組を中心に掲載した。完成した SDGs マップは、ブックレットに掲載した他、環びわ湖大学・地域コンソーシアムの HP にて公開する。

#### ②SDGs 全国フォーラムでのポスターセッションの参加

SDGs 全国フォーラムは経済・社会・環境のバランスが取れた持続可能な地域づくりを進めるため、先進的かつ積極的な取り組みを全国に発信することを目的に 2019（令和元）年度から始まったイベントであり、今年度は第 3 回目が滋賀県にて開催された。

フォーラムでは、各種プログラムに併せて、SDGs の取組に関するポスターセッション会場が設けられ、またオンラインにより各ポスターセッション参加団体からの取組発表が行われた。

今回、滋賀県からの提案により、本ポスターセッションに参加することとなり、参加学生達は、成果発表会での発表内容をさらに精査し、ポスターセッションとオンラインによる発表を行った。



## 3. 今年度事業の総括について

### (1) 学生支援事業の目的達成と学生の成長実感について

プログラム参加学生の活動を振り返るとともに学生の成長を確認するためにアンケートを実施した。

アンケートによると、今回のプログラムに応募した目的は、「SDGs への興味・関心」が圧倒的に多かった。コンセプトや内容、また支援事業の目的にも SDGs への理解を掲げているので目的と参加者にミスマッチは生じていなかったと言える。

達成度に関する質問では、回答者全員が、「おおむね達成できた」以上の項目を選択している。その

項目の選択理由としては、SDGs を学ぶことに加え、「フィールドワーク」、「取材」、「記事作成」、「グループでのディスカッション」など、今回のプログラムの手法の部分の評価が窺えた。

満足度の回答でも、回答者全員が「目標をおおむね達成できた」以上の項目を選択している。項目の選択理由として、「人と関わる楽しさ」「交流」「貴重な体験」などの記載が目立ち、今回のプログラムを対面で行ったことが、コロナ禍によりオンラインでの学生生活を送ってきた学生達にとっては大きな満足度を得られたことと読み取れる。

プログラムを通して得たものについての回答は、それぞれ回答が分かれたが、滋賀県の取り組みを深く学べたこと、他者との交流についてなど、複数の回答が寄せられた。

その他の記載内容では、1年生の単独での参加が半数以上であったため、勇気を出してプログラムに参加してみたことへの自己評価と、今後も積極的に学内外のプログラムや活動に参加してみたいという記載があった。

アンケート結果から判断すると、参加者数は例年より少数であったが、学生支援事業が設ける6つの目的の達成と一定水準の成果を上げることができたと言える。

## (2) 今後の課題

### 1) プログラムの内容について

アンケートの回答から見えた課題としては、プログラムの枠組みの明確な周知があげられる。次年度は内容をより明確にしたうえで応募概要に掲載し、短期プログラムであることを明確にし、応募期間をより長くした方が参加者の向上につながることを窺えた。

実施にあたり、全学生が参加可能な日程をより丁寧に検討することも必要と考えられる。

### 2) チームの活動について

2020(令和2)年度は2名のペア制、2021(令和3)年度は4名のチーム制で実施し、2022(令和4)年度は3名または2名でのチーム制で実施した。チーム編成後に辞退者がいなかったため、3名中心でのチーム編成で各チームはスムーズに活動できていたと思われる。事前のレクチャーなどで連携を密に図るように環境を整えたことも効果的であったと思われる。

### 3) プログラムの人数について

適正規模20名前後のプログラムに対し、2021(令和3)年度は36名と、かなりの規模超過で実施した結果、運営の負担増や、複数の途中辞退者が発生し、適正人数で実施することの課題があった。

2022(令和4)年度は、募集の段階で15名の参加があり、適正規模にはやや少ないが全員を採用し実施した。

早々に1名が辞退するが、その後は14名全員が参加し、事後アンケートでは一定の満足度を得た。

課題としては、参加学生が一定の大学に偏る傾向があり、次年度に向けては、多くの学生が興味を抱くプログラムの設定とともに、加盟大学での募集を強化することが必要である。

### 4) ブックレットの内容について

取材記事を掲載するため、取材先への確認事項が多くブックレットの完成時期が予定より大幅に遅れた。具体的には、校正段階での指摘事項について、取材先にまで確認を遡る箇所が多く発生し、学生だけでなく、取材先にも負担が大きかった。一次原稿での完成度を高められるように指導することが必要である。

また、紙媒体のブックレットにこだわらない成果物についても、検討の余地があると考えられる。

### 5) 滋賀県との連携企画について

滋賀県との連携企画については、SDGs マップの作成に加え、イベント参加として、例年県内大学で開催されるSDGs 関連のイベントへの参加と高校でのSDGs キャラバンの実施がなされていたが、今年度のイベント参加については、SDGs 全国フォーラムが滋賀県で開催されたため、フォーラムへのポスターセッションの参加に絞り実施した。

全国フォーラムへの参加は、取材の成果発表が広くできたことと、企業とのふれあいや滋賀県知事

との交流など、またとない機会となり、参加者はかなり満足していた。反省点は、プログラム参加学生に対して、本フォーラムに関する丁寧な説明や、参加概要の情報提供が遅れたため、学生達を戸惑わせた点である。

　　今後は滋賀県との連絡を密に行い、スムーズな情報共有を図りたい。

　　なお、本プログラムへの参加は今年度のみとなるので、次年度は成果発表に関する新たな機会を検討する必要がある。

[添付資料]

参考資料：SHIGA 環びわ湖大学SDGsマップ2022

以上

**成安造形大学 資源リサイクルワークショップ**

未来社会デザイン共創機構 | 8/18

子ども向けの「夏休み・資源リサイクル講座」として近江八幡市でワークショップを開催。子どもたちのゴミについての意識を楽しく高めることを目指し「レジンでつくるおかしな(お菓子な?)キーホルダー」を作ってもらいました。キーホルダーづくりの材料は、子どもたちがそれぞれ持参した食べ終わったお菓子の袋です。普段なら捨ててしまうお菓子の袋がキーホルダーとして生まれ変わりました。身近なゴミの新しい発見や、ゴミとの向き合い方が変わるきっかけとなれば嬉しいです。



12歳以上  
公式サイト▶  
<https://bit.ly/3fH6NPA>

SHIGA  
**環びわ湖  
大学SDGsマップ  
2022**

滋賀のシンボル・琵琶湖をとりまくように立地する14の大学のキャンパス。心を癒やす水辺、緑豊かな山々のなかで、いきいきとしたキャンパスライフを学生たちが送っています。環びわ湖大学・地域コンソーシアムに加筆する大学のSDGsの取り組みやイベントについて、マップでご紹介します。

**長浜バイオ大学 市民土曜講座**

地域連携・産官学連携推進室 | 9/17・10/15・10/22

長浜バイオ大学の特色を活かした公開講座を実施しています。2022年度で5年目となり、年間約300名の地域住民の皆様へ受講いただいております。2022年度は全3回の予定で長浜バイオ大学を会場に実施しています。

びわ湖東北部地域連携プラットフォーム事業



**滋賀短期大学 滋賀県漁業協同組合連合会と「湖魚を使った学校給食レシピ集」の制作**

生活学科

滋賀県漁業協同組合連合会と本学生活学科の給食経営管理実習にて、滋賀県の「びわ湖の魚を学ぶ学校給食連携促進事業」の一環として『湖魚を使った学校給食レシピ集』を学生たちが制作しました。制作したレシピ集はお子様へ食べやすいよう工夫しており、滋賀県内の各市町の給食担当者へ湖魚食材に関する栄養成分やレシピ等の情報提供として案内されます。『レシピ集』は滋賀県漁業協同組合連合会ホームページで公開中です。

公式サイト▶  
<https://bit.ly/3T4V9y9>



**龍谷大学 龍谷大学SDGs宣言 - 仏教SDGsの推進 -**

龍谷大学は、「浄土真宗の精神」を建学の精神とする大学として、「仏教SDGs」の理念を掲げて、SDGsの達成に資する取り組みを推進してきました。阿闍陀仏が「すべての生きとし生けるものを決して見捨てない」と誓われた心、すなわち「捨取不捨」の心と、SDGsが掲げる「誰一人取り残さない」という理念に共通点を見出し、この仏教的な視点を通して大学構成員自らの自覚と気づきを促す、それが、本学が掲げる「仏教SDGs」です。この「仏教SDGs」という本学独自の視点を踏まえ、学内外の教習を精励し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを開始しています。その取り組みを具現化するため、「龍谷大学 SDGs宣言」を発売しました。HPでは、本学における取組体制他、様々な取り組みを掲載しています。

公式サイト▶  
<https://bit.ly/3enb3Dz>

**立命館大学 立命の家2022**

立命の家実行委員会(学生団体)・BKC学生オフィス | 8/22・8/23

「立命の家」は、学術系サークルやプロジェクト団体が日頃の活動の成果を地域に還元する取り組みです。毎年夏休みに開催し、プログラミング体験や工作、科学実験など、地域の小学生に楽しんでもらえるような企画を実施しています。2022年度は対面・オンラインの両方で企画を実施し、2日間で175名の小学生が参加しました。



公式サイト▶  
<https://bit.ly/3fW1GuU>

**びわこ学院大学 わくわくフェスタ2022**

学生支援課

「わくわくフェスタ」は、地域の子どもたちに遊びと学び体験の場を提供しているイベントです。子ども学科1、2年生が授業の一環で取り組んでいるもので、学生たちにとっては、大学で学んだ知識や技能を活かす貴重な機会になっています。コロナ禍ですが、今年度も感染防止対策を十分にこらえて、ワークショップやアトラクションなど7ブースで親子が安心して楽しめる場になりたいと考えています。



公式サイト▶  
<https://bit.ly/3e9m10E>

**びわこ成蹊スポーツ大学**

**聖光大学**

**びわこリハビリテーション専門職大学**

**成安造形大学**

**びわこ学院大学**

**滋賀短期大学**

**滋賀大学**

**立命館大学**

**滋賀医科大学**

**放送大学**

**環びわ湖大学・地域コンソーシアム**

大学名 ... 加盟校  
県市町 ... 加盟自治体



**滋賀大学 サステナウィーク**

地域連携教育推進室

SDGsを探究し、実践する授業プログラム(プロジェクト科目)をコアに、学生と教職員による実行委員会にてSDGs理解をテーマにしたイベントを行います。暮らし続けられる、働き続けられるといった、持続可能な社会づくりに向けた様々な実践企画を、学生主体で地域と連携しながら実施します。



2022. 11.21~ 11.25  
開催予定

**滋賀県立大学**

キャンパスSDGsびわ湖大会2022

地域共生センター

SDGsに取り組んでいる学生、SDGsに関わる団体が活動について報告し、情報共有を図り、ネットワークを広げる交流イベントです。2022年度もびわ湖東北部地域連携協議会との連携で実施し、基調講演をはじめ1週間をわたるSDGsセミナー、ディスカッションなどの学生企画を実施します。



2022. 11.5~ 11.11  
開催予定

**聖光大学 彦根市消防団機能別分団**

総合企画課・地域連携交流センター | 5/22・8/27・1/7

聖光大学は2019年4月より彦根市消防団機能別分団(学生団員)として、防災訓練や啓発活動に参加しています。今年度、新たに2名の学生が入団し、団員数は11名になりました。今年度参加した彦根市防災訓練では、地域にお住いの方々と協働し避難所設置訓練を行いました。今後も災害に強いまちづくりを目指し、防災活動、防災啓発活動に積極的に参加していきたいと考えています。

びわ湖東北部地域連携プラットフォーム事業



**びわこリハビリテーション専門職大学 いきいき生活プロジェクト ~頭と体のリフレッシュ~**

学生支援グループ・総務グループ

加齢による認知機能の維持・改善に向けた頭と身体を使ったコーディネーショントレーニングや運動機能が低下するフレイル予防のための運動機能の維持・改善と栄養指導を地域住民の皆様へ実施しています。地域在住高齢者の健康維持に関心のある学生がボランティアで事業に参加し、教員と共に関心測定や健康体操等に参加する中で、生活維持のために必要な身体機能とは何かを考えるきっかけとなっています。



公式サイト▶  
<https://bit.ly/3y3X8k8>

## 授業・研究でのSDGsへの取組

### 成安造形大学 プロジェクト授業

未来社会デザイン共創機構「近江里山フィールドワーク」



里山における人と自然の関わりについて学びます。里山での暮らしを知るフィールドワークを通して、未来における自然との関わりについても考察します。大津市仰木地区の住民で組織する棚田保全団体の指導のもと、棚田保全活動を行います。また、今森光彦先生が所有する里山にて、里山環境整備など実践を通して、里山に対する理解を深めています。

未来社会デザイン共創機構「ちま吉プロジェクト」

大津には、約400年の歴史を持つ「大津祭」という祭があります。「ちま吉」は大津祭を支えるNPO法人大津祭曳山連盟の公式キャラクターとして2007年に本学学生がデザインしました。それ以降15年間「ちま吉」のキャラクターデザインを使用した告知広報活動を、学生の手で企画・デザイン・制作してきました。アイデアを練り、子どもたちや地域住民の皆様に向けた活動を展開しています。



### 聖泉大学

#### 多文化共生・国際理解教育プロジェクト

人間学部 森研究室

主に彦根市を中心とした湖東地域において、多文化共生や国際理解をテーマとする講座やワークショップ等を実施しています。具体的には地域内の中小高校への出前授業、各種イベントへのボランティア参加などを通じて、地域の多文化共生や異文化理解の推進を目指しています。(彦根市から委託事業を受託)



#### 十人十色プロジェクト 性の多様性を知ってもらう!

人間学部 准教授 富川 拓

彦根市が令和3年度にパートナーシップ宣誓制度を導入するのに合わせて、周知啓発活動に取り組みました。意見交流会、FMラジオの番組制作、研修会・公開講座の企画運営、市内企業の実態調査等を聖泉大学と彦根市との協働で行い、ジェンダー平等の実現を目指しています。



公式サイト▼  
<https://bit.ly/3VfYbel>



#### 常祝いの会&オレンジリボン運動 in 多賀大社

別科助産専攻



安産祈願に來られた妊婦の方とご家族や一般参拝の皆様、子どもへの虐待防止啓発運動であるオレンジリボン運動を実施しました。妊婦様やご家族に対しては、腹帯の巻き方をお伝えすると同時に、ご自身の環境での子育ての課題を認識するきっかけづくりとして「育児の認識チェックシート」を体験してもらいました。その他、参拝にいられた方々に対しては、赤ちゃん人形の抱っこ体験をしてもらいました。



#### 助産学生によるババママクラス

別科助産専攻

夫婦で協力し合いながら妊娠・出産・育児をのりこえていくきっかけづくりを目的に、助産学生によるババママクラスを開催しました。クラスでは「パパの妊婦体験や赤ちゃん人形の抱っこ体験」「家事・育児見える化シートの記入」「産後のママとパパのうつについて」「パパの沐浴体験」など、楽しく夫婦で話し合い、体験できる内容を準備しました。参加された方は出産後のイメージが付き、これからの育児期を前向きにとらえていただけたようでした。



公式サイト▼  
<https://bit.ly/3CFtFpt>



## びわ湖東部地域連携協議会

びわ湖東部地域の大学・短大・自治体・経済産業界等が、SDGsを活用し、力を合わせて地域の課題解決や魅力と活気ある地域社会の創出を目指したプラットフォームです。「産業振興に向けた産官学連携」「地域コミュニティの活性化」「地域を担う次世代人材育成」の3つのワーキンググループを形成し、産官学協働で事業を推進しています。

公式サイト  
[www.hn-rcrc.jp/](http://www.hn-rcrc.jp/)



### 協議会5大学

#### 近江でのSDGsの実践

SDGsや地域課題をテーマとし、協議会加盟大学から講師を派遣し滋賀県内の大学生の教育環境の充実を図るための共同科目を開講します。本科目では、SDGsとは何かを学び、17個の目標とその目標達成への実践例なども学ぶことでSDGsへの理解を深めます。また、SDGsでの目標を近江の地で実践していくためにはどのような行動計画を立ててどのように実践していけば良いのかを、グループワークを通してそれぞれが考え、それを皆で共有することで、将来の持続可能な社会の構想実現に寄与するための足がかりを得ることを目標としています。



## そのほかのSDGsへの取組

### 成安造形大学 健康増進キャンペーン 啓発ポスター制作

未来社会デザイン共創機構



滋賀県国民健康保険団体連合会とのコラボ企画で、毎年、学内で「健康増進キャンペーン啓発ポスター」のコンペを実施しています。健康増進月間の期間中、滋賀県内各所で掲出されます。



公式サイト▼  
<https://bit.ly/3MFY9DU>

### 滋賀県立大学 スチューデントファーム「近江楽座」

地域連携・研究支援課「通年実施」



地域貢献を目的とする学生主体のプロジェクトを大学が支援する教育プログラムです。毎年、学生主体の地域活動を募集し、所定の審査を経て、プロジェクトとして採択されます。学生が地域の課題に地域の方々と一緒に取り組み、その解決を目指しています。

公式サイト▼  
<https://bit.ly/3Gx1sw6>



### 龍谷大学

#### 環境省との協力連携「地域脱炭素の推進に関する協力協定」を締結 —環境省と滋賀県が主催するシンポジウムでも意見交換に参加—

世界各国が2050年までのカーボンニュートラルの実現をめざすなか、日本は、「2050年に脱炭素社会の実現をめざす」ことを宣言しました。龍谷大学は、創立400周年を迎える2039年を見据えた長期目標の一つとして「社会変革の中核的担い手となる」ことを掲げ、カーボンニュートラルを先導する大学としての決意を国内外に表明するため、2022年1月に「龍谷大学カーボンニュートラル宣言」を发出了。そして、脱炭素社会や地域循環共生圏の実現に寄与するため、環境省との連携協力体制の構築として、2022年4月25日、「地域脱炭素の推進に関する協力協定」を締結しました。2022年5月7日(土)には、滋賀県庁にて「地域の脱炭素社会の実現に向けた環境省と滋賀県によるシンポジウム」が開催され、第2部「環境政策にかかる全国行脚(滋賀県)意見交換会(環境省主催パネルディスカッション)」に、地元団体代表として、本学から深尾 昌峰 副学長(社会貢献・SDGs担当)が登場し、本学の取り組みを紹介しました。



公式サイト▼  
<https://bit.ly/3ysW4il>



## 令和4年度留学生事業部会の事業報告について

### 1 担当

主担当 滋賀県立大学

副担当 滋賀大学、滋賀県

### 2 部会の開催状況

(1) 令和4年7月6日(水) 15:00~15:35 オンライン会議

事業計画で掲げる「留学生就職活動ガイダンス」および「留学生のつどい」に向けて、企業とのマッチングや、留学生に滋賀県の魅力をさらに知っていただける取組等が話し合われた。

(2) 令和5年2月1日(水) 13:30~ オンライン会議

令和4年度事業報告(案)および令和5年度事業計画(案)が協議された。

### 3 令和4年度(2022年度)事業

(1) 第5回留学生就職活動ガイダンス

滋賀県内の大学に在籍する学部1回生をはじめとした外国人留学生を対象に、日本で働くための就職活動の方法や留学生の就職に関係する在留手続きなどのガイダンスを実施した。

また、内定をもらって就活を終えた内定者からは就職活動の体験談を、滋賀大学および滋賀県立大学を卒業して日本企業に就職した留学生OBからは就活に関するアドバイスを、県内事業所の採用担当者からは外国人に求める職種や採用ポイントなどが紹介された。

ア 日時

2022年7月16日(土) 13時00分~16時00分

イ 場所

滋賀大学およびZOOM(対面およびオンラインによるハイブリット開催)

ウ 参加者

県内の大学に在籍する外国人留学生11名

エ 内容

講演1: 日本で働くための就職活動について(滋賀大学就職支援室: 入江先生)

講演2: 安定した在留資格を得るために(元滋賀大学教員 寅野先生)

講演3: 「国内企業でのインターンシップ体験、日本での就職理由、就活体験談(困ったこと、成功へのコツ)」など(就職内定留学生)

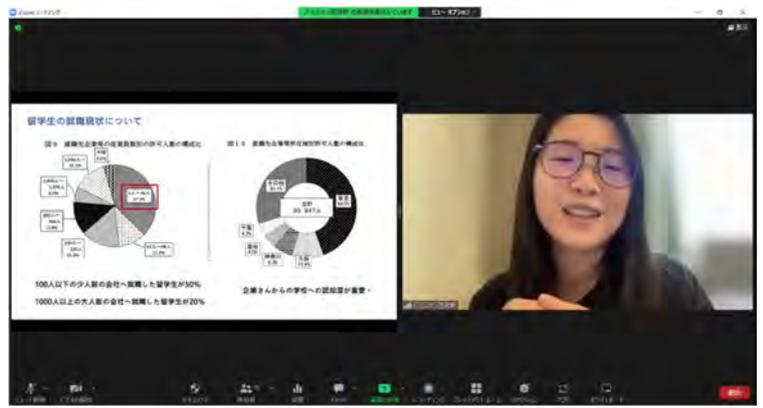
講演4: 「自己紹介」「日本で就職しようと思ったきっかけ」「在学時の就職活動体験談」「就職先での業務や近況」など(卒業生)

講演5: 外国人の採用実績がある県内事業所等の採用担当者から、外国人に求める職種や採用ポイントなどを講演してもらう(企業採用担当者)

講演6: 就職内定者や卒業生へのインタビュー



講演2 安定した在留資格を得るために



講演4 在学時の就職活動体験談

## (2) 滋賀県留学生のつどい

滋賀県内の大学等に在籍する外国人留学生、大学の教職員等が一堂に会し、互いに語り合い交流できる場として留学生のつどいを開催した。

2022年の秋は新型コロナウイルスの感染状況が比較的落ち着いていたことから、感染対策を講じながら、滋賀で学ぶ留学生のよき思い出となる一日とするため、歴史ある風光明媚な寺院を観光バスで巡り、滋賀県で学ぶことの意義を深めるとともに、昼食や瀬田川クルーズを通じて留学生同士の懇親を図った。

### ア 日時

11月20日（日）9時40分、10時20分 立命館大学、大津駅集合 17時00分頃解散

### イ 訪問場所

三井寺、レストラン風月、石山寺、瀬田川クルーズ

※レストラン風月での昼食は、牛肉・豚肉を含まない料理を手配。

### ウ 参加状況（36名）

学生33名（立命館大学11名、滋賀医科大学10名、滋賀大学6名、滋賀県立大学3名、龍谷大学2名、成安造形大学1名）、教職員3名

### エ 支出経費

479,749円

### オ 備考

- ・ アンケートの結果、多くの留学生が満足している様子がうかがえた。
- ・ 留学生からは、滋賀県の魅力をさらに知りたいという意見や、留学生同士がさらに交流できるイベントを求める声が出された。
- ・ 体調不良のために当日12名のキャンセルが発生したので、引き続き本事業の企画運営に留意してまいりたい。



三井寺での集合写真



昼食



石山寺での様子



瀬田川クルーズ

### (3) 第6回留学生就職活動ガイダンス

滋賀県内の大学に在籍する外国人留学生を対象に、日本で働くための就職活動や留学生の就職と在留資格など、留学生向けのガイダンスを開催した。

留学生・卒業生へのインタビューでは、就職活動に大切なこととして、日本語能力のアピールだけでなく会話のキャッチボールを意識することや、課外活動を通じてコミュニティを広げることが大事などのアドバイスが提供された。

#### ア 日時

2022年12月17日(土) 13時00分～16時00分

#### イ 場所

滋賀大学およびZOOM(対面およびオンラインによるハイブリット開催)

#### ウ 参加者

県内の大学に在籍する外国人留学生11名

#### エ 内容

講演1: 日本で働くための就職活動について(滋賀大学就職支援室: 入江先生)

講演2: 就活と在留手続き 書類作成の方法(元滋賀大学教員 寅野先生)

講演3: インターンシップ・就活体験談(就職内定留学生、卒業生)

講演4: 外国人に求める職種・採用ポイントについて(企業採用担当者)

講演5: 就職内定者や卒業生へのインタビュー



講演4 外国人に求める職種・採用ポイント



講演5 就職内定者や卒業生へのインタビュー

## 4 執行額

|                     |                             |
|---------------------|-----------------------------|
| (1) 滋賀県留学生のつどい      | 480,409円(バス借上料、昼食代、拝観料、保険料) |
| (2) 留学生就職活動ガイダンス    | 100,030円(講師謝金および旅費)         |
| 計 580,439円(予算額90万円) |                             |

## 令和4年度 就職支援事業部会 事業報告

### 1 就職支援事業部会（14大学）

（主担当校）滋賀大学、（副担当校）滋賀県立大学、びわこ学院大学  
（参画校）滋賀医科大学、龍谷大学、立命館大学、成安造形大学、聖泉大学、  
長浜バイオ大学、びわこ成蹊スポーツ大学、滋賀文教短期大学、  
滋賀短期大学、放送大学、びわこリハビリテーション専門職大学

#### （1）第1回就職支援事業部会

令和4年6月17日（金） 13：30～14：10 Web（Zoom）で開催 出席：12大学

#### （2）第2回就職支援事業部会

令和4年9月8日（木） 15：15～15：30 Web（Zoom）で開催 出席：9大学

#### （3）第3回就職支援事業部会

令和5年1月20日（金） 14：00～14：45 Web（Zoom）で開催 出席：12大学

### 2 2022（令和4）年度事業

#### （1）合同企業説明会

開催済 共催・協力：4件 広報協力：1件

#### （2）滋賀県企業人事担当者と大学就職担当者との情報交換会

令和4年12月に滋賀県若年者雇用促進事業（一般社団法人滋賀経済産業協会）主催の大学  
と企業との情報交換会に参加。

令和4年12月14日（水） 14：00～17：00 クサツエストピアホテル

参加企業：55社、参加大学：17大学

#### （3）就職支援に関する意見交換会・情報交換会・研修会

##### ①関係機関との意見交換会

令和4年9月8日（木） 13：00～15：00 Web（Zoom）で開催

参加関係機関：9機関、参加大学：10大学

##### ②大学就職担当者間の情報交換会・研修会

令和5年1月20日（金） 15：00～17：00 Web（Zoom）で開催

参加大学：9大学

(4) 学生を対象とした就職活動に活かす就職イベント  
「しが就活塾」

令和4年9月24日(土) ①10:30~13:00 Web (Zoom で開催)

②14:00~16:30 Web (Zoom で開催)

参加学生:20名(延べ)、参加企業:10企業

(5) 企業採用経験者による模擬面接会

2022年6月 しがジョブフェア内で大学生向け模擬面接実施

実施人数:6名

(\*別紙一覧表を参照)

以上

2022(令和4)年度 就職支援事業一覧表

|              |   | 2022(令和4)年度事業   | 2021(令和3)年度事業  |
|--------------|---|---|--|
| 1<br>合同企業説明会 | ① | 日時:6/28 「しがジョブフェア2022夏」<br>場所:クサツエストピアホテル<br>主催:滋賀労働局,ハローワーク,滋賀県,滋賀若年者地域連携事業事務局,<br>しがジョブパーク<br>協力:環びわ湖大学・地域コンソーシアム、滋賀県中小企業団体中央会<br>参加企業:60社<br>参加学生数:58名   | 日時:6/30 「しがジョブフェア2021」<br>場所:クサツエストピアホテル<br>主催:滋賀労働局,ハローワーク,滋賀県,滋賀若年者地域連携事業事務局,<br>しがジョブパーク<br>協力:環びわ湖大学・地域コンソーシアム、滋賀経済産業協会、滋賀県中小<br>企業団体中央会<br>参加企業:58社<br>参加学生:89名   |
|              | ② | 日時:6/6~6/27、8/1~8/29 「しがジョブLIVE!」<br>※オンライン開催<br>主催:滋賀県、しがジョブパーク<br>広報協力:環びわ湖大学・地域コンソーシアム<br>参加企業:16社<br>参加学生数:28名  | 日時:6/16~6/25、7/7~7/16 「しがジョブLIVE」<br>※オンライン開催<br>主催:滋賀県、しがジョブパーク<br>広報協力:環びわ湖大学・地域コンソーシアム<br>参加企業:14社<br>参加学生数:40名   |
|              | ③ | 「湖東地域就職フェア」<br>⇒ 開催無し   | 「湖東地域就職フェア」<br>⇒ 中止  |
|              | ④ | 日時:6/20 「甲賀市・湖南市合同JOBフェア」<br>場所:クサツエストピアホテル<br>主催:甲賀市役所商工労政課、湖南市役所商工観光労政課<br>共催:ハローワーク甲賀<br>協力:環びわ湖大学・地域コンソーシアム,滋賀労働局,しがジョブパーク,滋賀県<br>中小企業団体中央会,甲賀市工業会,甲賀市企業人権啓発推進協議会,<br>湖南市工業会,湖南工業団地協会,湖南市企業・事業所人権啓発推進協議会<br>参加企業:50社<br>参加学生数:42名 | 日時:6/22 「甲賀市・湖南市合同JOBフェア」<br>場所:クサツエストピアホテル<br>主催:甲賀市役所商工労政課、湖南市役所商工観光労政課<br>共催:ハローワーク甲賀<br>協力:環びわ湖大学・地域コンソーシアム,滋賀労働局,しがジョブパーク,滋賀県<br>中小企業団体中央会,甲賀市工業会,甲賀市企業人権啓発推進協議会,<br>湖南市工業会,湖南工業団地協会,湖南市企業・事業所人権啓発推進協議会<br>参加企業:40社<br>参加学生数:63名(既卒生、若年求職者含む) |
|              | ⑤ | 日時:10/29 「東近江市で働く!! 合同就職面接会」<br>場所:東近江市立八日市文化芸術会館<br>主催:東近江市就労対策協議会<br>参加企業:41社<br>参加学生数:13名  | 「東近江市合同就職面接会」<br>⇒ 中止  |
|              | ⑥ | 日時:7/6 「おおつ学生・若者就職フェア2022」<br>場所:琵琶湖ホテル<br>主催:大津市<br>共催:ハローワーク大津<br>協力:滋賀県中小企業団体中央会,大津商工会議所,大津北商工会,瀬田商工会,<br>環びわ湖大学・地域コンソーシアム,しがジョブパーク,滋賀新卒応援ハローワーク<br>参加企業:43社<br>参加学生数:37名  | 日時:7/12 「おおつ学生・若者就職フェア2021」<br>場所:琵琶湖ホテル<br>主催:大津市<br>共催:ハローワーク大津、滋賀県中小企業団体中央会<br>協力:環びわ湖大学・地域コンソーシアム,大津商工会議所,大津北商工会,<br>しがジョブパーク,滋賀新卒応援ハローワーク<br>参加企業:38社<br>参加学生数:49名(既卒生、若年求職者含む)   |

|              |   | 2022(令和4)年度事業  | 2021(令和3)年度事業  |
|--------------|---|--|--|
| 1<br>合同企業説明会 | ⑦ | 「湖北就活ナビ 学生就職面接会」<br>⇒ 開催無し   | 日時:6/22 「湖北就活ナビ2021 学生就職面接会」<br>場所:長浜バイオ大学<br>主催:湖北就活ナビ実行委員会(長浜市、米原市)<br>共催:環びわ湖大学・地域コンソーシアム、びわ湖東北部地域連携協議会、ハローワーク長浜、湖北地域雇用対策協議会、長浜地域雇用創造協議会、滋賀県労働局<br>協力:長浜バイオ大学、長浜ビジネスサポート協議会、米原市商工会<br>参加企業:31社<br>参加学生数:62名 |
|              | ⑧ | 「おおつ就職面接会2022秋」<br>⇒ 開催無し  | 日時 11/22 「おおつ就職面接会2021秋」<br>場所 大津市役所<br>主催:大津市<br>共催:ハローワーク大津<br>協力:滋賀県中小企業団体中央会、環びわ湖大学・地域コンソーシアム、大津商工会議所 他<br>参加企業:35社<br>参加学生数:39名(新卒・6名、既卒:33名)   |
|              | ⑨ | 「おおつ合同就職面接会2023」<br>⇒ 開催無し   | 日時 1/19 「おおつ合同就職面接会2022」<br>場所:大津市役所<br>主催:大津市<br>共催:ハローワーク大津<br>協力:滋賀県中小企業団体中央会、大津商工会議所、大津北商工会、瀬田商工会、しがジョブパーク、滋賀県地域若者サポートステーション<br>参加企業:35社<br>参加学生数:28名  |
|              | ⑩ | 日時:2/7 「しがジョブフェア 2023 WINTER」<br>場所:クサツエストピアホテル<br>主催:滋賀労働局、ハローワーク、滋賀県、しがジョブパーク、滋賀経済産業協会<br>協力:環びわ湖大学・地域コンソーシアム、滋賀県中小企業団体中央会<br>参加企業:35社<br>参加学生数:51名(新卒10名、既卒・若年者41名) | 日時:2/1 「しがジョブフェア2022」<br>場所:クサツエストピアホテル<br>主催:滋賀労働局、ハローワーク、滋賀県、(株)東京リーガルマインド、しがジョブパーク<br>協力:環びわ湖大学・地域コンソーシアム、滋賀経済産業協会、滋賀県中小企業団体中央会<br>参加企業:30社<br>参加学生数:62名(新卒28名・既卒3年以内12名・34歳までの若年者22名)                      |
|              | ⑪ | 「経験を先取り! 湖北就活ナビ 業界研究会」<br>⇒ 開催無し   | 日時 2/15 「経験を先取り! 湖北就活ナビ 業界研究会」<br>場所:長浜バイオ大学→オンライン開催に変更<br>主催:湖北就活ナビ実行委員会(長浜市、米原市)<br>協力:びわ湖東北部地域連携協議会<br>参加企業:13社<br>参加学生数:20名  |

|              |   | 2022(令和4)年度事業  | 2021(令和3)年度事業   |
|--------------|---|--|---|
| 1<br>合同企業説明会 | ⑫ | 日時:2/21 「業界研究フェアin彦根」<br>場所:Zoom<br>主催:彦根商工会議所,彦根地区雇用対策協議会<br>協力:彦根市,ハローワーク彦根,滋賀県新卒応援ハローワーク,<br>びわ湖東北部地域連携協議会                                  | 日時:2/22 「業界研究フェアin彦根」<br>場所:Zoom<br>主催:彦根商工会議所,彦根地区雇用対策協議会<br>協力:彦根市,ハローワーク彦根,滋賀県新卒応援ハローワーク,<br>びわ湖東北部地域連携協議会     |
|              | ⑬ | 日時:3/7 「滋賀就活フェアin彦根」<br>場所:マリアージュ彦根<br>主催:彦根商工会議所、彦根地区雇用対策協議会<br>協力:彦根市,ハローワーク彦根,滋賀県新卒応援ハローワーク,<br>びわ湖東北部地域連携協議会                               | 日時:3/11 「滋賀就活フェアin彦根」<br>場所:マリアージュ彦根<br>主催:彦根商工会議所、彦根地区雇用対策協議会<br>協力:彦根市,ハローワーク彦根,滋賀県新卒応援ハローワーク,<br>びわ湖東北部地域連携協議会 |
|              | ⑭ | 日時:2/17 「就活スタートダッシュ! オンライン合同企業説明会」<br>場所:Zoom<br>主催:びわ湖東北部地域連携協議会<br>協力:長浜市・米原市  |   |
|              | ⑮ | 日時:3/3, 3/10 「ローカルジョブコレクション」<br>場所:3/3 Zoom、3/10 長浜バイオ大学<br>主催:学卒採用戦略委員会 事務局(長浜商工会議所内)<br>協力:長浜市・米原市   |   |
|              | ⑯ | 日時:3/17 「おおつ合同企業説明会2023」<br>場所:大津市役所<br>主催:大津市<br>協力:ハローワーク大津,滋賀県中小企業団体中央会,大津商工会議所,<br>大津北商工会,瀬田商工会,環びわ湖大学・地域コンソーシアム,<br>しがジョブパーク,滋賀新卒応援ハローワーク |   |

「あいの甲賀土山ジョブフェア」

YouTubeによる企業紹介配信に移行

主催:あいの甲賀土山合同企業面接会実行委員会

<過去実績>

甲賀土山町の企業9社で合同企業説明会を開催

※2020年度開催中止,2019年度:10月実施(参加者情報なし),2018年度:7月実施(参加者6名)

|                                       | 2022(令和4)年度事業   | 2021(令和3)年度事業   |
|---------------------------------------|---|---|
| 2 滋賀県企業人事担当者と大学就職担当者との情報交換会           | <p>日時 12/14 企業と大学の情報共有懇談会<br/> 場所 クサツエステピアホテル<br/> 参加企業: 55 社<br/> 参加大学: 17 大学<br/> 主催: 滋賀経済産業協会(厚生労働省 滋賀労働局委託 若年者地域連携事業)</p>                                       | <p>日時 12/9 企業と大学の情報共有懇談会<br/> 場所 キラリエ草津<br/> 参加企業: 40 社 (新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止の観点から参加企業数を減らして開催)<br/> 参加大学: 10 大学<br/> 主催: 東京リーガルマインド(厚生労働省滋賀労働局委託 若年者地域連携事業)</p>     |
| 3 大学就職担当者間の情報交換会・研修会の実施               | <p>日時 9/8 関係機関との意見交換会<br/> ※オンライン開催<br/> 参加:10大学,労働局:1名,滋賀県:1名,滋賀県経済産業協会:1名,<br/> 滋賀県中小企業団体中央会:1名,大津市:1名,彦根市:1名,長浜市:1名,<br/> 草津市:1名、東近江市:1名,環びわ湖大学・地域コンソーシアム事務局</p> | <p>日時 9/9 関係機関との意見交換会<br/> ※オンライン開催<br/> 参加:10大学,労働局:1名,滋賀県:1名,滋賀県経済産業協会:1名,<br/> 滋賀県中小企業団体中央会:1名,大津市:1名,長浜市:3名,草津市:1名,<br/> 甲賀市:1名,東近江市:1名,環びわ湖大学・地域コンソーシアム事務局</p> |
|                                       | <p>日時 1/20 大学就職担当者間の情報交換会・研修会<br/> 場所 Zoom<br/> 参加大学:9大学<br/> 主催:環びわ湖大学・地域コンソーシアム<br/> テーマ:これからの大学の就職支援の在り方について/これからの大学の就職支援について/県内就職促進に向けた行動宣言</p>                 | <p>日時 1/21 大学就職担当者間の情報交換会・研修会<br/> 場所 Zoom<br/> 参加大学:9大学<br/> 主催:環びわ湖大学・地域コンソーシアム<br/> テーマ:県外大学のコロナ禍での取組み/学生への情報提供について</p>  |
| 4 学生を対象とした就職活動に活かす就職イベント(ミニ・インターンシップ) | <p>日時 9/24 「しが就活塾」<br/> ※オンライン開催<br/> 主催:環びわ湖大学・地域コンソーシアム、滋賀県<br/> 参加企業:10社(午前5社、午後5社)<br/> 参加学生数:20人</p>   | <p>日時 9/25 「しが就活塾」<br/> ※オンライン開催<br/> 主催:環びわ湖大学・地域コンソーシアム、滋賀県<br/> 参加企業:10社(午前5社、午後5社)<br/> 参加学生数:23人</p>   |
| 5 企業採用経験者による模擬面接会                     | <p>2022年6月 しがジョブフェア内で大学生向け模擬面接実施<br/> 実施人数:6人</p>   | <p>2021年6月 しがジョブフェア内で大学生向け模擬面接実施<br/> 実施人数:6人</p>   |

## 令和4(2022)年度単位互換事業部会事業報告

### 1. 令和4年度事業報告

令和4年度の単位互換事業については、令和3年度の事業委員会で審議され、13大学から64科目の提供を受け開講した。

コロナ禍での講義となり、受講生にとっては出願時からの新型コロナウイルス感染防止のための行動制限、授業体制の変化、各大学の行動指針などもあり、出願者の伸び悩みがあった。

事業としては当初のスケジュールどおり募集を開始し、追加、再追加(臨時)と行った結果、6大学から39名(重複あり)が14科目に出願した。受講登録者は当初39名であったが履修取消があり最終的には35名が登録した。そのうち、単位付与者は29名であった。

#### <令和4(2022)年度 単位互換事業出願・受講者数集計表>

| 2022年度受講科目一覧(提供科目数:64科目 受講科目数:14科目) |             |   |      |      |        |      |                |
|-------------------------------------|-------------|---|------|------|--------|------|----------------|
| 科目番号                                | 科目提供大学名     | 科目名                                     | 出願者数 | 受講者数 | 単位付与者数 | 開講時期 | 実施方法           |
| 07                                  | 滋賀医科大学      | 哲学入門                                    | 1    | 1    | 1      | 前期   | 対面・遠隔併用        |
| 09                                  | 滋賀県立大学      | おうみ学生未来塾(湖東)                            | 4    | 4    | 4      | 夏期集中 | 対面授業           |
| 10                                  | 滋賀県立大学      | SDGsと滋賀のグローバル・イノベーション<br>-近江の暮らしとなりわい-  | 6    | 6    | 5      | 夏期集中 | 対面授業           |
| 15                                  | 滋賀短期大学      | 近江学入門                                   | 1    | 1    | 1      | 前期   | 対面授業           |
| 19                                  | 滋賀短期大学      | 秘書実務I                                   | 1    | 1    | 1      | 前期   | 対面授業           |
| 20                                  | 滋賀短期大学      | 秘書実務II                                  | 1    | 1    | 1      | 後期   | 対面授業           |
| 22                                  | 成安造形大学      | 近江学B(大学連携・地域連携型PBL科目<br>「おうみ学生未来塾(湖西)」) | 2    | 2    | 2      | 前期集中 | 対面授業           |
| 29                                  | 聖泉大学        | 滋賀論                                     | 2    | 2    | 2      | 前期集中 | 対面・遠隔併用        |
| 37                                  | 長浜バイオ大学     | 近江でのSDGsの実践                             | 11   | 7    | 6      | 後期集中 | 対面授業           |
| 44                                  | びわこ成蹊スポーツ大学 | スポーツ社会学概論                               | 1    | 1    | 0      | 後期   | 遠隔授業           |
| 52                                  | 龍谷大学        | びわ湖・滋賀学                                 | 2    | 2    | 2      | 夏期集中 | 対面・遠隔併用(学外実習有) |
| 57                                  | 龍谷大学        | 食と嗜好の科学                                 | 3    | 3    | 1      | 後期   | 対面授業           |
| 58                                  | 龍谷大学        | 日本・京滋の食料と農業                             | 3    | 3    | 2      | 後期   | 対面授業           |
| 63                                  | 立命館大学       | スポーツマネジメント論                             | 1    | 1    | 1      | 春学期  | 対面授業           |
| 総計                                  |             |   | 39   | 35   | 29     |      |                |

※履修取消:『近江でのSDGsの実践』で4名)

### 2. 単位互換事業委員会結果概要

#### (1) 第1回単位互換事業委員会及び担当学会議(書面開催)

日時: 令和4年7月8日(金)

方法: メール審議

内容:

- ・令和3年度第1回単位互換事業部会の議事録および令和3年度単位互換事業報告、令和4年度単位互換事業計画並びに取組状況について審議され、承認された。
- ・単位互換科目における遠隔授業の取り扱いに関するアンケートが実施された。

(2) 第2回単位互換事業委員会及び担当者会議

日時：令和4年11月9日（水）16:00～17:30

場所：環びわ湖大学・地域コンソーシアム事務局会議室

内容：

- ・令和4年度単位互換事業中間報告の説明があり、承認された。
- ・令和5年度事業計画（案）について審議され、遠隔授業科目を取り入れていくことで承認された。
- ・令和4年度の今後のスケジュールの確認と広報用パンフレット・ポスターの作成について審議され、新デザインにて作成することで承認された。
- ・令和5年度の単位互換事業予算(案)について説明があり承認された。

(3) 第3回単位互換事業委員会及び担当者会議

日時：令和5年2月24日（金）

方法：メール審議

内容：

令和5年度の単位互換事業の予算案について、第3回環びわ湖大学・地域コンソーシアム幹事会での依頼事項を踏まえた調整案が審議され、承認された。

【令和4年度担当校】

主担当校：立命館大学

副担当校：龍谷大学・びわこリハビリテーション専門職大学

## 2022（令和4）年度 広報事業報告

## 1. 担当

事務局

## 2. 事業報告

## (1) ホームページの管理・運営

更新状況（2022年4月1日～2023年3月31日）

- ① 連携会員の新規入会にともない、トップページにバナーを追加した。
- ② コンソーシアムについて  
組織図、役員一覧、役員会議事録、財務状況、加盟団体一覧を更新した。
- ③ コンソーシアムの事業  
留学生事業を追加した。また、各事業部会について2022年度の事業内容に更新した。
- ④ お知らせ（News）に、50件の記事を掲載した。  
（大学地域連携課題解決支援事業3件、学生支援事業5件、就職支援事業18件、  
単位互換事業6件、その他お知らせ18件）
- ⑤ SDGsへの取組（活動報告）
  - ・2022年度学生支援事業「SHIGA SDGs Studios+」の成果物を掲載した。  
「SHIGA SDGs Studios+」ダイジェストムービー  
「SHIGA SDGs Studios+ Booklet 2022」
  - ・SDGs関連のお知らせ7件を掲載した。
- ⑥ アクセス統計 2022年4月1日～2023年3月31日  
（カッコ内は、2021年4月1日～2022年3月31日）
  - ・ユーザー 11,379件（13,171）
  - ・セッション 14,902件（18,067）
  - ・ページビュー数 34,543件（46,955）

## ・ユーザーが訪れたページ

|   | ページ                  | ページタイトル     | ページビュー数<br>(全体に対する割合) |
|---|----------------------|-------------|-----------------------|
| 1 | /index.html          | (トップページ)    | 7,741(22.41%)         |
| 2 | /sdgs/index.html     | SDGsへの取り組み  | 1,743(5.05%)          |
| 3 | /about/index.html    | コンソーシアムについて | 1,736(5.03%)          |
| 4 | /business/index.html | コンソーシアムの事業  | 1,527(4.42%)          |
| 5 | /guide/index.html    | 大学の紹介       | 1,195(3.46%)          |

・デバイス別アクセス

|   | デバイスカテゴリ | ユーザー数<br>(全体に対する割合) |
|---|----------|---------------------|
| 1 | mobile   | 6,045(52.87%)       |
| 2 | desktop  | 5,149(45.04%)       |
| 3 | tablet   | 239(2.09%)          |

(2) 広報資料の作成・配布

2022 年版のリーフレット (A3 三つ折・8,000 部) を作成し、関係機関に配布した。

以上

令和4年度大学連携政策研究事業  
「県内大学等と地域のパートナーシップ推進に関する政策研究事業」概要報告

## 1. 事業目的

今後、人口減少・高齢化等により、地域コミュニティの弱体化や経済力の低下など、様々な地域課題が顕在化していくことが予想される。また、大学・短期大学・専門職大学（以下「大学等」という。）では、若年人口の減少に伴う経営上の課題を抱えており、地域社会における存在価値を高めていくことが求められている。

そのため、地域と大学等がそれぞれ抱える課題に個別に対応するのではなく、地域と大学等が共有できる統合した課題として整理し、その課題に協働して立ち向かうことが必要である。

そこで、県内大学等が中心となり、大学等間、産業界、自治体等が連携して地域課題を共有し、その解決に取り組むパートナーシップの構築を目指し、令和3年度の現状と課題の把握、推進のための方策に関する調査・研究を踏まえ、本県におけるパートナーシップ形成に向けた具体策に関する調査・研究を行う。

## 2. 事業内容

- (1) 大学等と地域のパートナーシップ推進に関する国の施策等の活用事例を研究する。
- (2) 大学等と地域のパートナーシップ推進に対する教育機関や企業等の態度や取り組みの現状について把握し、大学等とのパートナーシップ推進の方向性を研究する。
- (3) 県内大学等と地域のパートナーシップ推進に向けた提言を取りまとめる。
- (4) 調査結果、検討内容を取りまとめた報告書を作成する。

## 3. 事業実施

### (1) 第1回大学連携政策研究事業委員会

開催日時：令和4年6月21日（火）17：00～18：15（対面・オンライン併用）

- 議 題：1 令和4年度大学連携政策研究事業推進委員会の発足にあたって  
2 委員自己紹介  
3 政策研究事業の課題について  
4 委員会に進め方について

出席者：仁連 孝昭（環びわ湖大学・地域コンソーシアム顧問）（委員長）

中野 桂（滋賀大学経済学部 教授）

川中 大輔（龍谷大学社会学部 准教授）

田口 真太郎（成安造形大学未来社会デザイン共創機構 助教）

武原 正樹（滋賀県教育委員会高校教育課 主幹）

小林 正彦（滋賀経済同友会 専務理事・事務局長）

福永 光記（滋賀県総合企画部高専設置準備室 主査）（陪席）

磯谷 峰夫（環びわ湖大学・地域コンソーシアム 事務局長）（陪席）

### (2) 課題別関係者ヒアリング調査

- ・ **A：産学官による滋賀人材育成ビジョン共有の場づくり**  
 市民セクター（担当：川中委員）  
     しがNPOセンター 阿部圭宏（8月9日）  
     東近江三方よし基金 山口美知子（8月17日）  
 企業（担当：川中委員、竜王委員）  
     (株)日吉 村田社長（9月6日）  
     (株)滋賀銀行 西藤常務（9月6日）  
 行政  
     甲賀市（担当：竜王委員）甲賀市長（9月29日）  
     大津市（書面によるヒアリング）（11月4日）
- ・ **B：高大の地域人材育成ビジョンの共有と高大連携による人材育成**（担当；仁連委員長、中野委員、武原委員）  
     彦根東高校 伊吹校長、木下教頭、周防教務主任（8月29日）  
     大津商業高校 秋永校長、中西教頭（8月31日）
- ・ **C：産学官 パートナーシップを推進するコーディネイト機能**（担当：田口委員）  
     滋賀県立大学地域共生センター地域連携コーディネイター谷口嘉之（7月21日）  
     長浜市政策デザイン課 池野智美（8月22日）  
     (株)たねや 経営本部 大村啓子（8月30日）

### （3）第2回大学連携政策研究事業委員会

開催日時：令和4年9月22日（木）15：00～17：00（対面・オンライン併用）

- 議 題：1 第1回委員会の復習  
 2 課題についてのヒアリング調査結果報告  
 3 ディスカッション  
 4 今後の進め方について

出席者：仁連 孝昭（環びわ湖大学・地域コンソーシアム顧問）（委員長）  
 中野 桂（滋賀大学経済学部 教授）  
 川中 大輔（龍谷大学社会学部 准教授）  
 田口 真太郎（成安造形大学未来社会デザイン共創機構 助教）  
 竜王 みゆき（甲賀市総合政策部 政策推進課長）  
 小林 正彦（滋賀経済同友会 専務理事・事務局長）  
 福永 光記（滋賀県総合企画部高専設置準備室 主査）（陪席）  
 磯谷 峰夫（環びわ湖大学・地域コンソーシアム 事務局長）（陪席）

### （4）第3回大学連携政策研究事業委員会

開催日時：令和4年11月25日（金）16：00～17：40（対面・オンライン併用）

- 議 題：1 ヒアリング調査の結果  
 2 中間報告  
 3 12月中間報告書提出に向けて

出席者：仁連 孝昭（環びわ湖大学・地域コンソーシアム顧問）（委員長）

中野 桂（滋賀大学経済学部 教授）  
川中 大輔（龍谷大学社会学部 准教授）  
田口 真太郎（成安造形大学未来社会デザイン共創機構 助教）  
武原 正樹（滋賀県教育委員会高校教育課 主幹）  
竜王 みゆき（甲賀市総合政策部 政策推進課長）  
小林 正彦（滋賀経済同友会 専務理事・事務局長）  
福永 光記（滋賀県総合企画部高専設置準備室 主査）（陪席）  
磯谷 峰夫（環びわ湖大学・地域コンソーシアム 事務局長）（陪席）

## （5）最終まとめ（報告書目次）

1. はじめに（仁連）
2. 大学等と地域のパートナーシップ推進に関する動き（仁連）
  - 2.1 パートナーシップをめぐる高等教育政策とその動き
  - 2.2 産業界のパートナーシップに向けての動き
3. 滋賀県における人材育成ビジョンについての現状認識
  - 3.1 産業界、自治体および市民団体のパートナーシップ認識（川中）
    - 3.1.1 背景と問題設定
    - 3.1.2 調査概要
    - 3.1.3 調査結果
  - 3.2 大学および自治体における連携推進コーディネート機能の現状（田口）
    - 3.2.1 調査概要
    - 3.2.1 調査結果
4. パートナーシップ推進に向けての取り組みと課題
  - 4.1 人材育成ビジョン共有の場づくり（川中）
  - 4.2 連携コーディネート機能の課題（田口）
  - 4.3 高大連携事業の質的充実に向けて（仁連）
    - 4.3.1 滋賀県における高大連携の現状と課題
    - 4.3.2 主体性・多様性・協調性を育む人材育成
    - 4.3.3 地域の人材育成ビジョン共有と高大連携
  - 4.4 リカレント教育（中野）
5. パートナーシップ推進のための提言
  - 5.1 地域人材育成ビジョンの共有（仁連）
  - 5.2 コーディネイト機能の充実（田口）
  - 5.3 高大連携事業のステップアップ（仁連）
  - 5.4 産学官連携によるリカレント教育（仁連）

以上